

兵庫 県
保険医協会西宮
芦屋 支部ニュースNo. 377
2025・9・25

発 行

兵庫 県保険医協会 西宮・芦屋支部
〒662-0832
西宮市甲風園一―一五法貴皮膚科内
兵庫 県保険医協会
078-393-1801

リスクマネジメント研究会（感想文）

1415名の医師・歯科医師によるオン資義務化の違法性「確認訴訟」とは（感想文）

医師の職業上の権利も患者の受療権も脅かす

西宮・芦屋支部は8月23日（土）、協会会議室にてリスクマネジメント研究会「1415名の医師・歯科医師によるオン資義務化の違法性『確認訴訟』とは」を開催。オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟の事務局長で、東京保険医協会理事の佐藤一樹先生が「オン資」訴訟の経過と今後について話した。会員ら42人が参加した。司会を務めた西宮市・半田医院の半田伸夫先生の感想を紹介する。

「オン資訴訟」事務局長の
佐藤一樹先生が訴訟の論点を解説

本研究会は異例の暑さの続く残暑の土曜日に開催された。講師は東京保険医協会理事で、いつき会ハートクリニック院長の佐藤一樹先生である。先生は自身が医療事故訴訟の冤罪で起訴された経験から、様々な医療訴訟を医師側から応援されていて、今

や法律の専門家でもある。

政府や自治体が法律に則り施行することを行政という。今回の裁判は、マイナンバーカードの保険証利用（マイナ保険証）への急な変更に伴い、オンライン資格確認装置を保険医療機関に設置することを義務化したことへの裁判である。

先生は、本来、法律（健康保険法）ではマイナ保険証のみでの被保険者資格確認について言及していないにもかかわらず、厚生労働省省令（療養担当規則）でその方法の義務化を課し、かつ対応できない場合には保険医療機関指定を取り消す場合も想定したことは、行政上、法律に基づかない施行であり、違憲であると訴えた。さらにそのことが医療における医師の職業上の権利を制限していると主張したものである。行政上の不備が認定されれば、オンライン資格確認義務化は違憲となる。非常に卓越した裁判手法であろう。法律に詳しい先生ならではの発想であり、内容を聞いてなるほどと感心した。

一方で、世間の耳目はマイナ保険証への無理強いと、保険医療機関がこの拙速な医療DXに対応しきれないことに注目が集まった。しかしその裏には医療情報を新たな経済発展に利用したい国と企業



会員ら42人が参加し、これからの運動などについて議論を深めた

の思惑が見え隠れしている。この動きに対して先生は医療情報漏洩に関して大きな危惧と不安を感じているとした。さらにマイナ保険証の普及率の低さから、患者の受療権が奪われるとして、当面、資格確認書をすべての被保険者に配布することが現実的だとも説明した。

ありがとう佐藤先生。先生の活動により医療者が真摯に医療に取り組める環境を実現してほしいと切に願う次第である。

【西宮市・半田医院 半田伸夫】

兵庫 県保険医協会 評議員・予備評議員（医科）
選挙の公示

兵庫 県保険医協会 理事長 西山 裕康

協会規約第31条の2及び協会役員等選出規定の第3条の2により、
評議員・予備評議員（医科）選挙の公示を行います。

【評議員の職務】兵庫 県保険医協会規約第32条

1. 評議員は、本会の方針に沿い、各支部又は歯科部会の活動の中心となる。
2. 評議員は各支部又は歯科部会を代表し、所属する会員の意見を集約し評議員会に反映する。
3. 予備評議員は、評議員を補佐するとともに、評議員会に評議員欠席の際には評議員として出席する。

【任期】2年

【改選日】10月18日（土）午後2時～ 西宮・芦屋支部第45回総会
（会場；西宮市プレラホール会議室）

【立候補日時締切】10月11日（土）正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。「立候補届」の用紙をお届けしますので、必要事項をご記入の上、事務局へ持参または郵送・FAXでお送りください。なお、歯科について歯科部会で選出します。

兵庫 県保険医協会 西宮・芦屋支部役員選挙の公示

兵庫 県保険医協会 西宮・芦屋支部 支部長 法貴 憲

協会規約第75条および協会役員等選出規定の第3条の3により、
西宮・芦屋支部役員選挙の公示を行います。

【役職と定数】支部長・1名、副支部長・若干名、世話人・若干名

【任期】2年

【改選日】10月18日（土）午後2時～ 西宮・芦屋支部第45回総会
（会場；西宮市プレラホール会議室）

【立候補日時締切】10月11日（土）正午

【立候補届出の方法】

立候補希望者は、協会事務局までお申し出ください。「立候補届」の用紙をお届けしますので、必要事項をご記入の上、事務局へ持参または郵送・FAXでお送りください。

※評議員・予備評議員（医科）、支部役員の立候補に関するお問い合わせは、協会事務局 TEL. 078-393-1840（伊地知・山田）まで

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部 第45回支部総会 市民公開講演会

災害時にも安心できるトイレ環境づくり
～トイレで困る人を減らすために～

と き 2025年10月18日(土) 14時開場 14時30分開演

ところ 西宮市プレラホール

西宮市高松町4-8 プレラ西宮 5階(阪急西宮北口駅直結)

入場無料

講師 日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 さん

私たちの生活に欠かせない水洗トイレは、給水設備と排水設備、処理施設、そして電気設備などが必要なシステムです。そのため、災害によりこれらのインフラが被災してしまうと水洗トイレは使えなくなります。日頃、当たり前のように使えている水洗トイレは、災害に強くないということを認識する必要があります。

水洗トイレが使えなくなったとしても、排泄は待たないです。これまでの大きな災害時には、便器が大小便で満杯になり、著しく不衛生な状態になりました。このような状態をトイレパニックと呼んでいるのですが、トイレパニックは3つの深刻な問題を引き起こします。それは「集団感染のリスクが高まる」「災害関連死につながる」「避難生活の秩序が乱れる」です。つまり、災害時のトイレ問題は命と尊厳にかかわる緊急対応事項として取り扱う必要があると考えています。

トイレパニックにならないように、家庭、病院、クリニック、薬局、施設、事業所などで取り組んでほしいトイレの備えについてお話させていただきます。



■ 加藤 篤 (かとう・あつし) さん

1972年、愛知県生まれ。まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教諭等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうんちの大切さを伝える出前授業などを展開している。「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。

著書に『トイレからはじめる防災ハンドブック』(学芸出版社)、『もしもトイレがなかったら』(少年写真新聞社)、『うんちはすごい』(株式会社イーストプレス)、『四快のすすめ』(共著・神山潤編)(新曜社)、『元気のしるし朝うんち』(共著)(少年写真新聞社) 他多数

主 催 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部

後 援 西宮市、芦屋市、西宮市教育委員会、芦屋市教育委員会、神戸新聞社

西宮・芦屋支部 第45回総会(総会議事)

と き 2025年10月18日(土) 14時

ところ 西宮市プレラホール会議室(ホールの隣の部屋になります)

議 題 2024年度会務報告、2025年度活動方針の提案、次年度支部役員・協会役員の選出

※お問い合わせは協会事務局 伊地知・山田まで TEL: 078-393-1840 E-mail: idichi@doc-net.or.jp

阪神・淡路大震災30年
南海トラフ巨大震災に備える

支部の先生方には既に一冊お送りしていますが、ぜひ一読いただき、ご意見・ご感想などお寄せください。また当書は自費出版として刊行しております。ぜひ募金にもご協力ください。追加のご注文、募金やお問い合わせは協会事務局(078・393・1840)まで。

西宮・芦屋支部は「私にできることはありませんから水くみでも」阪神・淡路大震災と西宮・芦屋支部は、今年の1月18日(土)に「阪神・淡路大震災・東日本大震災・原発事故・熊本地震・能登半島地震・阪神・淡路大震災から30年、そしてこれからの30年を見据えて」をテーマに開催した「阪神・淡路大震災30年の集い」での講演、報告をまとめた書籍を発行しました。神戸大学名誉教授の石橋克彦先生のメイン講演「『大地動乱の時代』と『原発震災』」をはじめ、支部世話人でNPO法人ストップ・ザ・アスベスト代表の上田進久先生の「阪神・淡路大震災とアスベスト」、七尾市・ねがみみらいクリニック根上昌子先生の「能登半島地震から1年、そして風水害」の2つの報告、当日会場で展示された合わせて12のパネルの内容を整理・加筆し収載しています。



(下) 集いでは会員・市民ら282人が参加し大成功を収めた
(左) メイン講演を務めた石橋克彦先生

「震災30年の集い」書籍刊行
次の30年に向けた提起をぜひ多くの人に

世話人会だより

西宮・芦屋支部は9月19日(金)に西宮フレンテ会議室で世話人会を開催。4人が参加した。

【Ⅰ. 最近の診療経験の交流】

・医薬品供給不足問題について
・保険証廃止・マイナ保険証について

【Ⅱ. 予定・企画】

① 市民講演会(丸山美和氏)(9・20)

② 支部総会・記念講演(10・18)

③ 健康と医療について語り合う会(10・30)

④ 被災地交流 物品/物産展(11・8)

⑤ 市民講演会(日本クルド文化協会
ワックス・チョーラク氏)(12・6)

⑥ 支部忘年会(12・26)

⑦ 「日本の青空」映画上映会

【Ⅲ. 協会・保団連行事】

① 日常診療経験交流会(10・26)

② 保団連医療研究フォーラム(11・23)

【Ⅳ. 報告】

① リスクマネジメント研究会(8・23)

② 英語で診療 Medical English(9・12)

【Ⅴ. その他】

① 「ロゼバラム」供給不足問題
厚労省要請(9・24)② 能登半島訪問・ロビンロイドさん
コンサート(8・10)

* 世話人会の日程は毎月第4金曜日です。
次回は10月24日(金)に予定しております。支部
についての意見や企画案などをお寄せください。